

拡大するASEAN市場に対応したエアコンの生産・輸出拠点として展開

インドネシアのエアコン新工場で生産・出荷を開始



左：P.T. Sharp Electronics Indonesia エアコン新工場の外観、右：生産ライン

シャープは、インドネシア共和国の生産販売会社P.T. Sharp Electronics Indonesiaが拠点を構えるカラワン県カラワン工業団地に建設していたエアコン新工場の完成に伴い、4月初旬より生産を開始し、本日より出荷を開始しました。

世界第4位の人口（約2億7,000万人）を擁するインドネシアなどASEAN諸国では、急速な経済発展に伴い家庭用エアコンの市場が拡大しており、都市部だけでなく地方においても今後さらなる需要の増加が見込まれています。新工場はインドネシア国内およびASEAN諸国の旺盛な需要に対応する生産・輸出拠点として、ノーマルタイプエアコンはもちろん、省エネ性能が高いインバーターエアコン・プラズマクラスター搭載エアコンなどを生産してまいります。

また、屋根には自然光採光や熱を逃がす構造を採用しており、今後は、太陽光発電システムを設置し、発電した電力を照明・ラインなどの各種設備に使用することで、環境負荷低減にも取り組んでまいります。

当社は、1970年にインドネシアで家電事業を開始して以来50年以上にわたり、インドネシア全土で販売・サービス網を構築し、家電機器のリーディングメーカーとしてエアコンをはじめ各種生活家電の普及拡大を図ってまいりました。今後はその知見を活かし、ASEAN市場全体への安定的な供給体制の構築を図るとともに、将来的にはAIoT搭載モデルなどの付加価値モデルも新工場生産することにより、ASEAN市場でのシェア拡大をめざしてまいります。

■ 新工場の概要

会社名：ピー・ティー・シャープ・エレクトロニクス・インドネシア

P.T. Sharp Electronics Indonesia（略称：SEID）

事業内容：エアコン・冷蔵庫・洗濯機・テレビなどの製造・販売

代表者：社長 寺岡 真司

建設地：インドネシア共和国カラワン県カラワン工業団地

生産能力：90万台/年

投資金額：約40億円

出荷開始：2023年4月12日

●「AIoT」は、AI（人工知能）とIoT（モノのインターネット）を組み合わせ、あらゆるものをクラウドの人工知能とつなぎ、人に寄り添う存在に変えていくビジョンです。「AIoT」はシャープ株式会社の登録商標です。